

みらいを築く福島県

主任電気技師 中尾 茂史
所属：県中流域下水道建設事務所 建設課

採用：平成14年度
学生時代の専攻：工学部 電気工学科



■福島県職員を志望したきっかけ

「えっ。技術職でも公務員として働けるの。」これは私が福島県のホームページを見ていて「電気に関する技術職」の募集を見つけたときに思った感想です。

福島県生まれの福島県育ちの私は、この大好きな地元をより良くしたい！より魅力あるものにしたい！大学で学んだ電気の知識を生かし何かできないかと悩んでいた時でした。

■これまでの経歴

- ・平成14年度～ 医科大学 施設管理グループ（医科大学及び附属病院の施設管理）
- ・平成16年度～ （財）ふくしま海洋科学館 施設管理課（水族館アクアマリンふくしまの施設管理）
- ・平成19年度～ いわき建設事務所 建築住宅課（県立高校・県営住宅等、県有施設の工事監理）
- ・平成22年度～ （公財）福島県下水道公社 県中浄化センター（下水処理場の施設管理）
- ・平成26年度～ 県中流域下水道建設事務所 建設課（下水処理場の工事監理）

■現在の仕事内容

私が所属する建設課は、下水処理施設の建設や維持管理を行っています。その中で私は、下水処理場の建築工事、設備工事の発注業務及び工事監理を行っています。



場内汚泥保管解消を記念して

■これまでの仕事で印象に残っていること

水族館での工事は魚へストレスを与えないことや、来館者への配慮が最優先であったり、学校の工事では学業への支障とならないよう夏休みに工事を行うなど、利用者毎の様々なニーズに対応していくことを学びました。現在の事務所では原子力発電所の事故後、数年に渡って放射性物質に汚染された大量の下水汚泥を場内に仮置きせざるを得ない状況でありましたが、仮設焼却炉の運転により仮置き汚泥の全量処理が無事完了したところです。

■仕事の魅力・やりがい

下水処理施設の建設や維持管理を行うことで、トイレが水洗化となり利便性の向上につながることや、生活排水等を浄化して自然に返すことより、公共用水域（川や湖沼や海）の水質保全にもつながる等公共サービスの提供者として、県民のニーズに耳を傾け一つ一つ解決していくことに魅力を感じます。

■未来の後輩へのメッセージ

経歴にもあるように様々な施設（現場）を経験でき、やりがいがありかつ、様々なスキルを習得できます。福利厚生もしっかりしており仕事も家庭も両立できます。共に福島のみらいを築きましょう。